

- 平成22年度第2回研修会-----①
- 平成22年度第1回研修見学会の詳細---①
- 平成22年度行事予定表、役員会報告---①
- 出前計量教室 平成21年度活動報告---②
- 会員の広場「会員紹介」「計量コラム」他-②

Libra Vol. B021
2010年7月1日発行

発行/植村実敏 東京都計量器コンサルタント協会
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-4 東京都計量検定所内
TEL 03-3434-6591 FAX 03-3434-6592

計量の安心・安全・信頼を推進する
計量器コンサルタント

第2回技術研修会を開く 「圧力計の技術とそのユーザー」

平成22年度の第2回技術研修会は、6月9日の午後2時から、東京都港区海岸の東京都計量検定所2階会議室で、講師に圧力計・温度計メーカーである山本計器製造㈱の山本雅夫常務取締役と戸塚利次仙台営業所長の2人を招き「圧力計の技術とそのユーザー」と題して開催した。

今回の内容は、会員アンケート結果、一番要望の多かったのが圧力計についての技術研修だったので、東京都計量協会会員の山本計器製造の協力を得て実施した。

研修会は、まず山本常務が講師となり、圧力の種類、単位、圧力測定の概要、弾性式測定と非弾性式測定、弾性式測定の概要、ブルドン管圧力計の原理と構造、形状と材質、ブルドン管圧力計の種類、特殊用途への対応、被弾正式圧力測定、重錘式圧力計の構造と使用方法など、圧力計の基礎について、また実際に圧力計を取り扱う際の要点や注意点を戸塚所長から詳細に説明が行われた。

休憩をはさんで、山本常務が講師となり、温度の歴史からガラス製温度計の原理と構造、バイメタル式温度計の原理と構造、隔測式温度計の原理と構造について講演が行われ、研修会の最後には、次から次と質問が講師へされる活発な質疑応答となり、午後4時に研修会を終了した。



【写真右上】講師の山本常務と上は講演会場の様子

平成22年度第1回見学会の詳細が決まる

皆様はDNAって聞いた事がありますか？
遺伝子？デオキシリボ核酸？そう言えば昔、化学の時間で習った様な記憶が……。

近年、DNAの研究が盛んに行われるようになってきて病気に強い農作物を作ったり、クローンを誕生させたりと話題に事欠くことがありません。今回の見学会は、DNAの専門研究機関である「かずさDNA研究所」及び製品評価技術基盤機構(NITE)の「バイオテクノロジー本部」の2ヶ所を選び実施することになりました。普段はめっただに見られない遺伝子の世界をぜひ会員の皆様にご覧頂きたいと思ひます。ふるってご参加下さい。(ポイント対象の行事です)

日時:7月23日 金曜日 AM8:15~PM4:30

場所:千葉県木更津市

「かずさDNA研究所」/「バイオテクノロジー本部」

参加費用:@3千円(昼食付き)

行程(全て貸切バスでの移動となります)

AM08:15 集合(検定所駐車場)

AM10:30 現地着見学開始(かずさDNA研究所)

AM12:30 昼食(レストランにて)

PM01:30 見学開始(バイオテクノロジー本部)

PM03:00 出発(帰路)

PM16:30 解散(検定所駐車場)

申込み方法:東京都計量協会に直接御申込み下さい。

申込み締切日:7月16日(金) 厳守、30名

平成22年度今後の行事予定

9月中旬 第3回研修会「横田計器製作所比重計」(ポイント対象の行事です)

11月1日 計量記念日「都民計量のひろば」(同)

11月下旬 東西計量器コンサルタント合同研修会「JFEスチール」(予定) 見学及び懇親会

平成23年2月 第1回技術研修会/総会/懇親会(同/同)

平成22年度役員会報告

- 第1回 2月4日(木)12名
21年度収支決算、22年度事業計画企画
シニア計量器コンサルタント制度立案
- 第2回 4月8日(木)12名
技術研修会、見学会企画検討、役員人事
役員会開催日程
- 第3回 6月9日(水)13名
見学会詳細決定、リブラ企画案検討

◆出前計量教室 平成21年度の活動報告

東京都計量検定所と東京計量士会が合同で、都内の小学生向けに出前計量教室を行っております。人手が足りない時に応援要請を受け、当協会からもお手伝いを行っておりますが、平成21年度の活動について報告がありました。

昨年は全19校に向き1729名の小学生に棒はかり、量目検査、寒暖計作り、計量の話を通して計量の大切さを教える事が出来ました。

出前計量教室を実施した学校のアンケート(回答数39件、回収率79.6%)を見ますと、今回の出前計量教室の内容について全体の約77%が「良かった」と回答があり、「ふつう」も20%超の回答がありました。また内容が期待していたものと合っていたかどうかについては「合致」が62%、「少し違う」が29%、「ちがう」が2%、「その他」7%となりました。内容の難易度については、「難しい」25%、「適度」63%、「易しい」10%、「その他」2%。

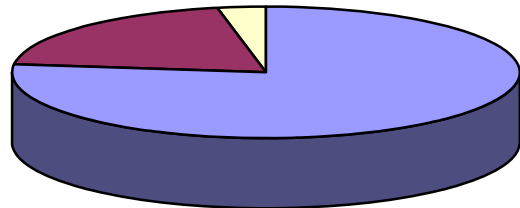
次回以降の出前計量教室についてもアンケートをし、まず次回も希望するかどうか聞いたところ

「同じ学年で同じ内容」39%「別の学年で別の内容」28%「同じ学年で別の内容」24%、「自分たちで実施する」6%、「希望しない」2%などの結果がでました。募集方法についても聞いたところ「現状のままで良い」71%、「先着順」10%、「随時受付」10%、「その他」9%となりました。その他と回答してきたなかには、「受付期間を延長してほしい」「1学期も実施して欲しい」など好評を裏付ける要望が寄せられました。

【お知らせ】

今年度も出前計量教室を実施いたします。会員のなかから、お手伝いいただける方を募集しております。ご協力いただける方は、東京都計量協会までお知らせ下さい。

全体の内容について 結果



■良かった ■ふつう □良くなかった

難易度 結果



■難しい ■適度 □易しい □その他

期待していた内容と 結果



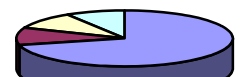
■合致 ■少し違う □まったく違う □その他

次回の希望 結果



■同じ学年で同じ内容 ■別の学年で別の内容
■同じ学年で別の内容 □自分たちで実施
■希望しない

募集方法 結果



■現状のまま ■先着順
■随時受付 □その他

・会員の広場・

このLibraで2008年1月発行のVol.B011まで続いていた「会員の広場」が復活致しました。従来のように会員の皆様から、俳句や川柳を募集致しますので我こそはと思われん方はどしどし力作をお寄せ下さい。今回から、会員企業のご紹介、計量コラムの掲載を始めていきます。

会員企業紹介

メラー・トレード株式会社(東京・上野)

私共メラー・トレード株式会社は、スイスに本社を置く、天びんを中心とした精密機器メーカーです。全世界では10,000人を超える社員を抱え、100以上の国において、製品および関連するサービスとサポートを提供しています。日本では、シヤベルヘグナー社販売の時代を経て、1993年よりメラー・トレードの日本法人を設立し、40年以上高性能・高品質・高付加価値製品をお客様に提供してきました。現在は、東京都台東区池之端に本社および技術サービスセンターを置き、大阪支社や全国にまたがる技術拠点を含め、従業員110名にて、日本のお客様・販売店様のサポートを行っています。

弊社の製品は、研究室で使用される分析天びんから、産業用天びん・フロアスケール・トラックスケール、また、物流分野で使用される寸法測定システムや小売店で使用されるはかりまで、多岐に渡っています(一部日本で取扱いのない製品があります)。さらに、「はかり」だけでなく、プロセス測定機器、分析装置、合成・精製システム、JCSS校正サービスまで、非常に幅の広い製品群・サービスを取扱っています。

日本では、各製品のセールス・アプリケーション・技術サポートチームが日夜働いており、様々プロモーションを行っていることもあって、どのチームも多忙を極めます。現ゲルハルト・ケラー社長となつてから、ISO認証取得や新しい顧客情報システムの導入など、業務改善のためのいろいろな活動もあり、社内は活気に満ちています。弊社のモットーは、常に最高品質のソリューションを提供することであり、今後も新しいビジネスソリューションを創造していきます。

【写真】左からゲイリーケラー社長、新本社のオフィスと社屋ビル



計量コラム

「風袋」

私たち計量人が知ってるつもりが？？実は知らなかった！！そんな用語を調べてみました。今回の用語は「風袋」です。

「風袋」ふうたいと読みます。武器の指し物の一つという意味もあつたようですが、商品の容器・包み紙などは風袋と言って、商品の重さには入りません。中身だけの重量を正味といい、風袋と正味の合計を皆掛(みなかけ)ともよびます。取引商品の風袋が事前に分かっている時は、個々に計算しないでそれに従うのを慣習風袋と言います。風袋にはその他取引に際して当事者が協議して推定する場合の算定風袋などがあります。算定風袋とは、商品売買の際総重量から控除しやすいように、重量が算定してある風袋のことです。正しい風袋引きが行われず、風袋が商品の目方に含まれていたとすると、それだけで損をした事になります。

計量法では、法定計量単位で表記する場合には、正味量による定めになっています。

もう一度、風袋を確認してみたいものです。

■お悔やみ■

渡部 勉氏(81歳)

(社)東京都計量協会会長で(社)日本計量振興協会副会長の渡部 勉氏(株)渡部計器製作所代表取締役社長が、病気の為、4月11日ご逝去されました。